

消費者に必要とされる「消費者力」

くらしの中でお金を支払い、商品やサービスを購入・利用する人すべてが消費者です。

この本は、消費者として必要とされる「契約」に関する基礎知識をまとめてあります。皆さんが、経済社会（契約社会）で生きていくうえで、とても重要な知識です。さまざまな消費者トラブルに直面した時、知らなかったために不利益を被ることがないようにしっかり身につけてください。

消費者には、責任と自覚を持って商品やサービスを選び、契約し、使用・利用する「消費者力」を高めることが求められます。例えば身の回りのものを大切にする、環境に負荷を与えない商品の購入を心がけるなど、広い視野で自分たちの消費スタイルをとらえ、選択（意思決定）をすることです。「買い物」という自らの生活を支える選択行為が、よりよい企業を育てる投票権と考えれば、「買い物」で社会全体に良い影響力を与えていくこともできるのです。



- 消費者に必要とされる「消費者力」 1
- 消費者の権利と責任 2
- 契約について理解しよう
 - 生活の中の契約を考えてみよう 3
 - 契約とは 4
 - 消費者を守るための法律 5
- 若者に多い消費者トラブル 9
- キャッシュレスと消費生活
 - さまざまな決済方法 11
 - クレジットカードのしくみと注意点 11
- くらしの安全について理解しよう
 - 製品事故の場合 13
 - 食品事故の場合 13
- 身近な相談窓口 消費生活センター 14

消費者の権利と責任

消費者団体の国際的組織である国際消費者機構（CI:Consumers International）で、消費者の8つの権利と消費者の5つの責任を提唱しています。

消費者の8つの権利

- 1 安全が確保される権利
- 2 選択する権利
- 3 知らされる権利
- 4 意見が反映される権利
- 5 消費者教育を受けられる権利
- 6 被害の救済を受けられる権利
- 7 基本的な需要が満たされる権利
- 8 健全な環境が確保される権利

消費者の5つの責任

- 1 商品や価格などの情報に疑問や関心を持つ責任
- 2 公正な取引が実現されるように主張し、行動する責任
- 3 自分の消費行動が社会（特に弱者）に与える影響を自覚する責任
- 4 自分の消費行動が環境に与える影響を自覚する責任
- 5 消費者として団結し、連帯する責任

日本の消費者政策の基本理念を定めた「消費者基本法」では、消費者の権利の尊重と自立の支援が明記されています。消費者の権利が守られるとともに、消費者は社会に果たすべき責任（役割）があります。

消費者の行動が社会を変える

最近の社会情勢は、IT化、グローバル化、ボーダーレス化と急速な変化により、契約の在り方や製品事故、悪質商法なども、日々、変化しています。一方で、経済社会の生み出す環境破壊や格差といった諸問題は、わたしたち一人ひとりの課題です。商品やサービスの取引についての確に判断し選択することが、社会を変えることにつながります。